

自作アプリケーションがブロックされる現象について

当方において、「Microsoft Defender ウイルス対策」の「リアルタイム保護」機能が動作することにより、自作アプリケーションがブロックされる現象を確認いたしました。

アプリケーションがブロックされた場合は、以下の手順に従ってリアルタイム保護の設定をご確認いただき、設定が有効状態（オン）であった場合は、一時的に無効状態（オフ）にさせていただきますようお願いいたします。

リアルタイム保護の「設定の確認」および「設定の切り替え」手順

1. 「スタート」 > 「設定」 > 「更新とセキュリティ」 > 「Windows セキュリティ」 > 「ウイルスと脅威の防止」 > 「設定の管理」の順に選択します。
2. 「リアルタイム保護」の設定が「オン」の場合は、「オフ」に切り替えます。
3. 「ユーザー アカウント制御」が表示された場合は、「はい」をクリックします（管理者のパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します）。

※ リアルタイム保護は一時的に無効状態（オフ）にすることはできますが、一定時間を過ぎたり Windows を再起動したりすると自動的に有効状態（オン）に戻ります。

※ アプリケーションがブロックされた際に、リアルタイム保護の設定が既に無効状態（オフ）であった場合は、その他のセキュリティ関連の設定などをご確認いただきますようお願いいたします。